

1 二国間関係全般

- (a) バチエレ大統領は、安倍総理大臣のチリ訪問を歓迎。
- (b) 両首脳は、長期にわたる二国間友好関係に満足の意を表明。
- (c) 両首脳は、首脳会談及び「日本チリ政策対話」を通じた二国間対話に満足の意を表明。一層促進させる意図を共有。
- (d) 両首脳は、災害救援・防災分野における協力関係の増大や効果的な進展を評価。
- (e) 両首脳は、天文学、南極研究、医療調査等の科学技術・学術交流、及び留学生交流、スポーツ交流を歓迎。両首脳は、科学技術・学術分野の二国間対話を開催する意図を共有。
- (f) 日本国総理は、「女性が輝く社会」のビジョンを説明。両首脳は、目的を達成し、本件についての対話を強化するために協働する意図を表明。
- (g) 安倍総理は、「積極的平和主義」及び集团的自衛権を含む安全保障の法的基盤に関する先般の決定について説明。バチエレ大統領は、日本の取組に対する支持を表明。
- (h) 文化及び芸術の重要性に鑑み、両首脳はこれら分野の交流を促進するために、両国の公的及び私的団体間の協力を歓迎。

2 経済分野における協力

- (a) 両首脳はAPECに対する共通の利益を共有した。
- (b) 安倍総理は、太平洋同盟との関係強化への意図を表明。バチエレ大統領は日本の関心を歓迎。
- (c) 両首脳は、日本・チリEPAがもたらした好ましい経済的影響を確認、二国間経済関係を一層促進させる意図を共有。
- (d) 安倍総理は、対チリ投資に関する日本企業の関心を強調。バチエレ大統領は、日本企業による投資があらゆる分野に多様化することを歓迎。両首脳は、石炭火力発電技術の利用促進の重要性を認識
- (e) 両首脳は、TPP交渉の妥結に向けてより一層協力する意図を表明。
- (f) 両首脳は、鉱業分野における二国間関係をより一層強化する意図を表明。
- (g) 両首脳は、エネルギー効率の分野での協力の促進への関心を共有。

3 多国間協力

- (a) 両首脳は、国連安保理改革の重要性及び安保理非常任理事国選挙での相互支持成立を再確認。安倍総理は、チリによる日本の安保理常任国入り支持を評価。昨年のチリの安保理非常任理事国選挙の当選を祝福。
- (b) 両首脳は、核軍縮・不拡散の重要性を確認し同分野での協力継続・推進についての意思表示。
- (c) 両首脳は、環境、気候変動、ポスト2015年開発アジェンダ等の地球規模課題に取り組み、人間の安全保障を推進することの重要性を再確認。
- (d) 両首脳は、二国間クレジット制度に関する協議を継続する意図を表明。
- (e) 安倍総理は、北朝鮮人権状況決議のチリの共同提案国入りを歓迎。両首脳は、拉致問題解決の重要性を確認し、本件について一層協力する意図を表明。
- (f) 両首脳は、アジア太平洋及び中南米地域における法の支配、平和、安定、繁栄、民主主義及び表現の自由を含む基本的人権の保障を維持することの重要性を強調。
- (g) 両首脳は、公海及び海洋資源の保存に適用される原則を認識し、国連海洋法条約第7部に含まれる公海の自由などの全ての原則を含む国際法の適用を強化することの重要性を確認。